

何で日本人は老後の資金を作れないのか？
その理由は「ここ」に有った！

お金の勉強をする前に読む本

著 豊田 康浩

ウェルスマネージャー

目次

- はじめに 5
- ① お金を増やすってどういう事？ 9
 - ・ 物価の上昇率よりも増えないとお金は減っている
 - ・ 何のために増やしたいのか？
- ② 外貨（ドル）って危ないの？ 16
 - ・ ドルは世界の基軸通貨！
 - ・ 円だけで持っていれば安全！なのか？
- ③ 投資って何だか怖い？ 24
 - ・ 投資と投機の違い
 - ・ 銀行預金は間接投資

- ④ 金を保有するって良いの？ 28
 - ・ 金の価格は20年でこうなった！
- ⑤ 資産と負債の違い 31
 - ・ 家やマンションは資産？
- ⑥ 労働所得と財産所得 34
 - ・ 富裕層は例外なく財産所得
- ⑦ 保険や投資信託は手軽にお金を増やせる？ 39
 - ・ 日米の手数料構造の差
 - ・ 日本で買えるファンドは世界の僅か10%未満
- ⑧ 「信託」って何？ 48
 - ・ 信託の歴史
 - ・ 日本と欧米の信託の違い

⑨ お金を増やす・守る・遺す 55

- ・ 国の運命と個人資産は切り離す
- ・ 争いのない資産の遺し方

○ おわりに 61

◎ おまけ 64

- ・ ドルコスト平均法

- ・ 72の法則

- ・ 日本国債と日本円

はじめに

何故、あなたはこの本を手にとったのでしょうか？

「お金を増やしたい。貯めたい。将来困らないようにしたい。お金の心配がない人生にしたい。」等と思ったのではないのでしょうか？

そんな方に向けて「世間の当たり前」の餌食になってほしくないな。と思いますこの本を作ることになりました。

私自身、金融機関に勤め営業として長年走り続けて来ました。初めてお金や金融について学ぶことになった訳ですから「なるほど！これは知っていた方が良いな！」と思う事もあれば、契約を取る為の技術や、どうすれば手数料を沢山稼げるか！どうすれば高い金額を払ってもらえるか！といった売り手本位の勉強の日々に疲れた事もありました。

勿論、企業は利益を出し続けなければお客様をフォローし続けること

は出来ません。しかし、その為なら多少クライアントを犠牲にしても構わない。というのでは金融機関として本来の役割を果たせるとは思えませんよね。

そしてもう一つ。私は主に生命保険を取り扱っていました。お客様と老後の為の貯蓄の話になった時、常にぶつかっていた悩みが有りました。それは「年収700万円前後の世帯でも安心できる貯蓄を保険で作るのは難しい。」という事でした。そんな中でもベストな提案をさせて頂いていたつもりでしたが、充分でないのは明確でした。足りない部分は「今以上に頑張って働きましょう！」となったり「定年後も頑張って働くよ！」という形でお互いに妥協せざるを得ませんでした。

ファイナンシャルプランナーの資格も持っておりましたので、先生の先生的な立ち位置で仕事をさせて頂いているにも拘らず、お客様の悩みを解消する事の出来ない現状にフラストレーションを抱えずにはいられ

ませんでした。

そんな私が、今はこういったフラストレーションに頭を抱えることなく、お客様にお金の心配の無い将来を作る為のアドバイスをさせて頂いたり、世界のお金の当たり前と日本のお金の当たり前が違い過ぎる事のお話しをさせて頂ける様になれたのは「ファイナンシャル・アドバイザ―」という国内外の金融知識に長け、中立な立場で金融アドバイスを生業とした方々との出会いと、大手金融機関から金融商品の蘇生を依頼され、新たな商品を生み出したり。海外で金融機関の会社を創立し運営している。という並外れた能力を持った方との出会いが全ての始まりでした。

この方達との出会いが無ければ、今も悶々としながら金融機関に勤めていたでしょうし、私がこの本を書くことなんて絶対にあり得なかったでしょう。

そんな私が皆さんに「お金の勉強をする前にこれだけは知っておいて欲しい！」という思いでこの本を作らせて頂きました。そして、この本は既に出版されている書物や金融庁のHP、金融機関のHPに書かれている事を中心にまとめています。

皆さんにとっては初めて聞く事や、これ本当？と思う内容が出てくるかもしれません。しかし、それは私の考えた作り話ではなく、皆さんが手に取る事の出来る書物やHPに書かれている事実なんだ。という事を念頭に楽しく読み進めて頂ければ幸いです。